

# 平成30年度 重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

## 重点目標「目標に向かって努力を続けるしなやかな強さと他を大切にするやさしさをもつ生徒の育成」

<b>具体的な達成目標</b>	※生徒の自己評価（肯定的評価）の割合
○進んで学習に取り組む生徒	
・授業では互いの考えを出し合い、議論することができる。．．．．．	80%
・充実した家庭学習の習慣が身に付いている。．．．．．	80%
○時と場に応じた行動ができる生徒	
・時と場に応じたあいさつや言葉遣いをする。．．．．．	95%
・校舎や地域への感謝の気持ちを込めて清掃する。．．．．．	95%
・気持ちを込めて、大きな声で歌うことができる。．．．．．	95%

前年度  
 ・昨年度から研修主題を「社会の一員として自立する生徒の育成」とし、具体的には「授業では互いの考えを出し合い、議論することができる」生徒の育成に取り組んだが、目標達成には至らなかった。互いに議論するための授業改善について、本年度も引き続き取り組んでいきたい。  
 ・家庭学習の習慣化については、短時間でも毎日家庭学習を行う習慣は身に付いてきたようなので（昨年 89 %）、今年度は時間や取り組む内容の充実を図っていききたい。  
 ・「あいさつ」、「清掃」、「合唱」の項目は、更なる生徒の主体性の高まりを目指していききたい。そしてこれらの活動を通して、生徒に自己有用感や達成感を実感させるとともに、本校が推進する人権教育を核に、温かい人間関係を基盤とする生徒集団づくりを目指したい。

<p><b>進んで学習に取り組む生徒</b></p> <p>①授業や諸活動の中で考えを発表する場面を設定し、議論をすることで、互いに認め合ったり、考えを深め合ったりできる場を工夫する。</p> <p>②家庭学習の課題を工夫したり、生徒会や保護者と協力した取組をしたりしながら、家庭での充実した学習習慣を身に付けさせる。</p> <p>③校内研修で指導のねらいを明確にした授業展開や評価について研修し、実践する。</p>	<p><b>時と場に応じた行動できる生徒</b></p> <p>①道徳や学級会、生徒会活動を通して、あいさつの意義や好ましい人間関係づくりについて考えさせ、自分から場に応じた明るいあいさつや言葉遣いができるようにする。</p> <p>②校舎内だけでなく地域にも目を向けさせ、清掃の意義を理解して、主体的に清掃活動に取り組むことができるようにする。</p> <p>③行事や集会等の合唱では、式や集会等の意義を理解させた上で練習に臨ませ、聞く人を感動させる合唱になるよう指導する。</p>
---	--

中間評価  
**中間評価【学校評価(教員、保護者、生徒)、生徒の自己評価】(7月)**  
 ・学校評価から該当する評価項目を選び評価する。  
 ・教師と生徒、保護者の評価結果を比較し、目標値の変更や具体的な改善策等を検討する。

学校評議会、たより  
 学校 HP にて公表

※「学校・学年だより」、「学校 HP」で結果の一部を公表する。(学校評議会にて意見聴取)

①～③を継続 ※家庭学習の評価結果を保護者にたよりで知らせ、課題の共有化と連携・協力を図る。 「ノーマディア・チャレンジ・ウィーク」の継続	①～③を継続
---	--------

年度末評価  
**年度末評価・・・教職員、生徒、保護者対象 (2月)**  
 ・学校評価から該当する評価項目を選び、それぞれのアクションについて自己評価を実施する。  
 ・評価結果を学校・学年だより等で公開するとともに、学校評議員に報告し、意見を求める。

※「学校・学年だより」、「学校 HP」で結果の一部を公表する。

次年度  
 ・年度末評価結果をもとに成果と課題を明確にする。  
 ・生徒の実態を踏まえ、次年度の目指す生徒像を共通理解し、重点目標・行動計画を作成する。